

木のこだま

職員エッセー

今回のこだま人は… 看護師 杉野 陽子

病床「たんぽぽのおうち」のリーダーとして、入院患者さんのケアや、スタッフの管理を一手に担っています。行動力があり、頼れる存在でありながら、気取らず明るい人柄で、皆に慕われています。



『読書のすすめ』



私は、小学生の頃から本を読むことが好きでした。暇があれば図書館か古本屋さんに行き、大学時代のデート先と言えば本屋さんでした。小説やノンフィクション、雑誌、漫画など、なんでも読みます。

本の魅力はたくさんありますが、素敵な本に出合った時は、あっという間に本の世界に引き込まれます。大人になって入り込んだのは、東野圭吾さんや湊かなえさんの作品でした。表現方法が魅力的で、発想の転換がとても面白いのです。息子たちを寝かしつけた後に読み始め、気がつけば夜明け…なんてことも度々あります。

物語は、自分の知らない世界に触れることができ、いろんな人の考え方を知ることができます。恋愛小説で胸キュンしたり、推理小説でハラハラしたり、SF小説で異世界を体験したりと、日常では経験できない感動は、『心の体操』にもなり、本を読み終えた後は、達成感と充実感でいっぱいになります。最近では、面白かった小説の映画を見に行ったり、逆に映画化した作品の原作本を読んでみたりと映画との比較も楽しんでいます。

「忙しくて、本を読む時間なんてない!」と思う方も多いかもしれません。私も、家では読書の時間はあまりとれません。息子たちを寝かせてから…と楽しみにしていても、そのまま一緒に寝落ちしてしまうことが日常茶飯事です。本を読むタイミングは、『待ち時間』です。外出する時には、鞆に1冊本をしのばせます。本を読んでいると、『待ち時間』に余計なストレスがかからず、楽しい時間になります。『心の体操』で、心にゆとりを持つことが出来る気がします。上手くストレス解消しながら、心にゆとりを持って、仕事に家事に育児に、これからも頑張ります!



次回のエッセーは・・・
理学療法士の大西正人さんです。
在宅患者さん・入院患者さん、それぞれに合ったりハビリを日々実践しています。
どんなエッセーが待っているか?
乞うご期待です!

Masato Onishi

